

編集後記

『人間科学研究』第5巻第2号をお届けします。今号は、金沢市立玉川こども図書館長岡朝子先生による学術講演会の抄録を巻頭に掲載しました。岡先生は、「本は心の宝もの—こどもと読書体験—」と題して、家庭や学校における児童生徒の読書活動や世界の教育の現状を踏まえ、本とこどもの心の発達について、具体的な指針を示してくださいました。特に、様々なテーマを持つ世界の良質な絵本が伝える豊穡な世界は、他者や異文化の理解、生きる力を培う為に非常に有益であることが再認識できて、有り難い機会となりました。

本学教員からは、こども学科5件、スポーツ学科1件の研究成果が寄せられました。

川村氏は、英語の接頭辞における上下概念の比喩について考察しました。世界中で革命や災害など天地がひっくり返るような出来事が多発する近年、天地上下の安定を願います。

清水氏は、アートマイル国際交流壁画共同制作でユネスコスクールの持続発展教育に貢献しました。金沢21世紀美術館で作品を鑑賞しましたが、児童の未来に希望が見えました。

高氏・古澤氏は、不登校児童生徒に対する大学生・大学院生による支援の在り方を模索しました。年齢の近い家庭教師によって、新たな信頼の絆を結べるのではと期待されます。

谷中氏は、オーストリアの作曲家・音楽教育者エルンスト・ルードヴィッヒ・ウーライ氏の業績を顕彰しました。偉大な音楽家の魂は、日本の音楽界や青少年にも感動を与えます。

村井氏は、小学校におけるデジタル教科書の現状と課題について考察しました。電子黒板や電子書籍の普及と相俟って将来、紙媒体の教科書が全廃される日も来るのでしょうか。

井上氏は、障害者に様々なスポーツトレーニングとその成果の発表の場である競技会を提供している国際的なスポーツ組織の競技種目やコーチの在り方について展望しています。どうぞ高覧ご批評くださいますよう、宜しく願い申し上げます。

2012年3月吉日

編集委員長 馬場 治

《投稿された論文等に関する著作権は基本的に人間学会に帰属します》